



とうのしょうまち

東庄町 第162号

議会だより

平成29年
12月1日
発行

目次

- 9月定例会の内容…………… 2～3
- 歳入歳出決算監査委員意見の概要… 4
- 常任委員会報告…………… 5～6
- 議員・委員会合同行政
視察研修報告…………… 7～8
- 一般質問……………9～11
- 議会トピックス…………… 12

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111

第30回 東庄ふれあいまつり



橘小学校



神代小学校



東城小学校



心配された雨もやみ、爽やかな秋晴れとなった11月3日（金）「第30回東庄ふれあいまつり」が盛大に開催されました。

元気いっぱい踊る小学生の「よさこいソーラン」が、会場に熱風を巻き起こしました！！。

9月定例会

平成28年度決算を認定!

9月定例会は、9月4日から15日までの12日間の会期で開かれました。

今議会では、人権擁護委員候補者の推薦、教育委員会委員の任命、専決処分承認、過疎地域自立促進計画の策定、補正予算及び平成28年度各会計の決算認定等が提案され、慎重審議の結果、全議案を原案のとおり同意・可決・認定しました。

また、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員選挙を行いました。

一般質問は、3人の議員が登壇しました。

定例会の経過概要

9月定例会初日の4日には、一般質問を3人の議員が行った後、選挙管理委員会委員及び補充員選挙が行われました。また、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問2件、教育委員会委員の任命の同意1件、条例の一部改正に係る専決処分の承認、議案7件が順次上程され、いずれも原案のとおり同意・承認・可決しました。

2日目の5日には平成28年度の8会計決算認定が順次上程され、予算決算常任委員会に審査を付託しました。

7日、8日及び11日には予算決算常任委員会を開催し、平成28年度各会計決算について慎重かつ詳細な審査を行いました。

最終日の15日には、平成28年度各会計決算について、予算決算常任委員長から審査結果の報告があり、採決をした結果、各会計決算とも認定しました。

可決された主な議案等の概要

◎人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣に推薦するにあたり議会の意見を求められたもので、石毛一典氏（鹿野戸）、高橋俊光氏（平山）を適任者として推薦することに決定しました。

◎教育委員会委員の任命

小林衛治委員（平山）が9月30日で任期満了となりますが、適任者として再任することに同意しました。

◎専決処分の承認（町税条例等の一部を改正する条例）

町税条例等の一部を改正する条例の制定について専決処分したため、承認を求めたものです。

◎千葉県市町村総合事務組合の共同

処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制手に関する協議

◎香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

議

◎東庄町過疎地域自立促進計画の策定

平成29年4月1日、東庄町が過疎地域市町村として指定されたことにより自立促進方針に基づき、東庄町過疎地域自立促進計画の議決を求めたものです。

◎一般会計補正予算

補正額は、2億2965万5千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を54億6268万7千円とするものです。

補正の主な内容は、千葉県被災者生活再建支援事業補助金300万円、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金191万6千円、雲井岬つつじ公園関係委託料371万6千円、中学校の流末排水整備の工事費3356万7千円、その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

◎国民健康保険特別会計補正予算

◎訪問看護ステーション特別会計補正予算

◎介護保険特別会計補正予算

補正額は、3051万1千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を13億5883万1千円とするものです。

補正の主な内容は、国庫支出金等過年度分返還金2679万8千円、一般会計繰出金323万9千円、その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

9月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=- (議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			土屋 光正	宮澤 健	佐久間 義房	板寺 正範	花香 孝彦	林 俊之	大網 正敏	城之内 一男	高木 武男	鈴木 正昭	山崎 ひろみ	宮崎 正吾	鎌形 寿一	土屋 進
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第1号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて (町税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号	千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号	香取市東庄町病院組規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	東庄町過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	平成29年度東庄町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	平成29年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	平成29年度東庄町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号	平成29年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第1号	平成28年度東庄町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第2号	平成28年度東庄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第3号	平成28年度東庄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第4号	平成28年度東庄町食肉センター特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第5号	平成28年度東庄町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第6号	平成28年度東庄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第7号	平成28年度東庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第8号	平成28年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



本会議のようす

平成28年度各会計歳入 歳出決算監査委員 意見の概要



意見を述べる平山茂代表監査委員

一般会計・特別会計

平成28年度は、「第5次東庄町総合計画」の最終年度として各種事業を積極的に展開した年度である。財政力指数は、前年度に比べ若干増加したものの、平成19年度のピーク時にはまだ及ばず、今後とも財政基盤強化の取組みに努められたい。

次に、経常収支比率については、平成28年度決算においてここ数年増加傾向にあるため、予算執行における継続的な経費抑制に努め、今後とも比率改善に努力されたい。

なお、一般会計における人件費の割合が、永年財政改革に取組んできた結果により低位に保たれていることは、大いに評価するものである。

また、町税の徴収率は90%台の高レベルを保っている反面、国保税は低水準であるため、更なる納税意識の高揚を図り、徴収率の向上を目指して、町民への広報に引き続き努めていただきたい。

次に、介護保険特別会計については介護保険料徴収率が97・9%と高水準を保っている。新たに策定する事業計画が円滑な運営を実現する内容となるよう要望をする。

今後とも事務事業の重点化の検討と、更なる歳入の増収・歳出縮減に取り組み町民満足度の高い町制運営を強く望むものである。

水道事業

平成28年度決算における業務実績については、給水戸数は減少、水道普及率は84%で前年度より0・5ポイント増加した。年間給水量については、行政区域内の人口減少が続く中、景気・気候等種々の要件が影響することを考慮し、的確な需要予測等に基づいた効率的な事業運営に努められたい。

経営状況については、黒字決算を維持しているが、依然として給水原

価が供給単価を上回っている。

水道事業の本旨である飲料水の安定供給を図ることはもとより、災害時における給水体制・設備の充実も期待されるところであり、なお一層の経営努力に取り組み、損失が生じないよう健全経営を目指していただきたい。

国保東庄病院事業

平成28年度決算においては、病床利用率では、平均で66・9%となり、健全経営の指標の一つである70%台を維持することができなかった。今後は、その時々々の医療環境に当院の体制をいち早く適応させ、医療・介護保険適用病床数の利用率の向上に努力されたい。

経営状況については、病院事業収益が前年度比2・0%減で、病院事業費用は前年度比5・3%増額となり、3千565万5千円の純損失を計上している。これは、事務処理の不備により過去の保険請求分の減額処理によるものであり、再発防止と適切な事務処理に努められたい。

また、平成28年度には、医療用画像管理システムや、生化学自動分析装置の導入がされ、高度医療の要求に因應るとともに、地域住民の健康増進につながるものであり、更なる充実を図られたい。

後期研修プログラムの取組みは、医

師の確保に奏功したところであるが、今後の地域医療において医師の確保は最重要課題であることから、引き続き、医師・看護師など医療スタッフの確保に取り組み、医療体制の充実と患者サービスの向上に努められたい。

今後とも旭中央病院との連携を軸に地域の中核医療・療養施設としての役割を果たすべく、医師等の確保に万全を期すとともに、地域住民に対し安全で安心な医療が提供されることを望むものである。

監査委員 平山 茂
監査委員 宮崎 正吾



本会議での監査報告

予算決算常任委員会報告

予算決算常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。

(一) 一般会計 歳入

特に報告すべき質疑等はありませんでした。

(二) 一般会計 歳出

質 ふるさと納税記念品委託料の委託先及び内容は。

答 民間業者サイネックスに委託しております。記念品代と、寄付金額の10%を手数料として支払うものです。

質 情報セキュリティ強化対策工事の詳細および成果はどのようなものか。



答 総務省からの要請により自治体のインターネット回線とLGWAN回線を分離する工事、及びセキュリティ強化のため、静脈認証システムを採用する工事を行っております。

質 職員給が減少してきているが、事務システムの導入があったのか。

答 給与システムを導入し、事務の迅速性、効率化につながっていると考えます。

質 外出支援巡回バスはシルバーに委託しておりますが、運転者数及び運行バス台数状況は。また、運行コースの変更予定はあるのか。

答 バスは3台で運行しております。運転者につきましては、12名の登録者が交代で実施している状況です。コースについては、町民の意見を参考に運営協議会において検討しております。

質 骨量検診対象者及び時期は。

答 千葉県民予防財団に委託し、60歳までの女性と中学3年生の女子及び65歳、70歳と節目の方々を対象に希望者に実施しています。

質 結婚相談事業交付金について、28年度成果は。

答 28年度実施した事業により、現在一組が交際中でありました。また過去事業において交際中の方が一組の状況です。

質 ふれあいセンターの利用実績について利用回数は増加ですが、利用人数は減少している。原因と対策は。



答 利用団体会員数の減少が原因と思われる。また、対策につきましては、利用促進のPRを実施していきます。

質 農地流動化推進補助金の実績は。

答 農業基盤法に基づいた利用権設定が主なものです。中間管理事業を活用した農地の流動化については、実績がありませんが、国、県とともに推進しているところであり、町といたしても実績を作ることを目指しております。

質 東今泉地区では、狭い道路が多く見受けられるが、整備については、各地区からの要望等に基づき実施しているのか。

答 各地区からの要望がありましたら緊急自動車の通行できる幅での拡幅整備等を進め極力利用勝手の良い道路整備を実施する方針です。

質 消防団組織の再編について、町の考えを伺いたい。

答 且つて夏目区と八重穂区一つの団として、統合した経緯があります。最近では、新田区から消防団維持が難しいとの話があり議論しましたが現状のままとなりました。消防団組織は、災害防災の面において大変重要な組織であり、維持継続していただくことが大切だと考えます。

質 学校給食法では、材料費について保護者負担となっておりますが、歳入、学校給食費負担金、歳出、給食材料費の差額がある理由を伺いたい。

答 学校給食法においては、保護者負担を述べております。しかし、同日付で、市町村の助成を禁止するものではない旨の通知があり、それに基づき、材料費として町から約1千万円助成しているものです。

質 給食費収入未済額158万99656円については、今後どのような対応及び処理するのか。

答 給食費の未納金の内訳は、平成16年から28年までの延べ418件分となっております。その内電話催促、児童手当からの徴収等により出納閉鎖後60件分を収納いたしました。また、新たな未納者を増やさないよう努力していきたいと思っております。

質 給食センター臨時職員の雇用形態はどの様になっているか。

答 臨時職員の雇用形態は、学期ごとの雇用となっており、夏休み、冬休み、春休みの長期休業中は雇用契約をしております。

質 実質収支額が翌年度に繰り越されますが、地方自治法及び地方財務法の規定による剰余金の処理について伺いたい。

答 剰余金の2分の1以上を2年度内に積み立て、または繰り上げ償還に充てるとされており、繰越金の額を勘案し、基金への積み立てを行っております。法の趣旨に沿って財政運営を進めてまいります。

(国民健康保険特別会計)

質 特定健診委託料の委託先は。

答 特定健診委託につきましては、千葉予防財団に委託しております。また特定保健委託につきましてはヤックス(千葉薬品)です。

(後期高齢者医療特別会計)

特に報告すべき質疑等はありませんでした。

(食肉センター特別会計)

質 処理頭数のうち、東庄町のブランド、SPF豚の処理頭数割合はどのくらいか。

答 処理頭数95, 377頭のうち東庄町で商標登録されているブランドSPF豚は、約50%で4万7千頭から4万8千頭となっております。

(訪問看護ステーション特別会計)

特に報告すべき質疑等はありませんでした。

(介護保険特別会計)

質 町として認知症への取り組み状況及び認知症初期集中支援チーム検討委員会での協議内容について伺いたい。

答 認知症総合支援事業として、認知症についての理解を深めるため町の全職員及び小学生等を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。また、認知症初期集中支援チーム検討委員会では、開始時期及びサポーター医について、さらにチーム員の委託先について協議、決定しました。

質 介護認定審査会の委員構成と認定区分の決定方法について伺いたい。

答 審査会は、2合議体で各5名計10名の委員で、保健・医療・福祉に関する学識経験者で構成されており、コンピュータによる一時的

定の結果に基づき、認定調査の特記事項や主治医意見書の内容を加味したうえで、介護の手に係る審査判定を行います。

質 収入未済金については、督促により、時効中断となるのか。

答 介護保険法の規定により督促は時効の中断効力が生じます。

(水道事業会計)

質 修繕引当金は、どのような会計処理を行っているか。

答 過去には、修繕費予算について執行残があった時に繰り入れを行っていましたが、平成26年度法の改正以降は繰り入れを行っておりません。また法改正以降も大規模な故障等が発生し修繕費に不足が生じたときは、取り崩し修繕に充てることができます。

(東庄病院事業会計)

質 人間ドック、検診等について町民へのPRは。

答 人間ドックにつきましては、町の補助金制度がありますので、町民の皆さんに積極的に周知をしていきたいと思っております。



答弁をする病院院長

以上のような質疑・意見等が交わされ、当委員会に付託された、平成28年度各会計決算認定は、それぞれ採択した結果、決算書のとおり、認定すべきものとするに決定しました。

また、水道事業会計決算における剰余金の処分については、原案のとおり可決すべきものとするに決定しました。



議員・委員会合同行政視察研修

先進地に学ぶ

議員行政視察研修は、9月19日から3日間の日程で、各委員会との合同により行いました。9月19日には、山形県白鷹町を訪問し、過疎債を活用したソフト事業について、研修しました。

2日目は、山形県川西町を訪れ、全世帯加入によるNPO法人「きらりよししまネットワーク」の住民主体で進める地域づくりについて、その詳細な取り組みの様子を研修しました。

最終日には、宮城県丸森町を訪問し、閉校となった中学校を高齢者福祉の拠点に、宿泊・体験学習・生産施設として地区内外のふれあいの場づくりを行うNPO法人「そのつ森」の活動を拝聴し、改修された閉校中学校を視察しました。

ここに、議員それぞれの感想・意見を掲載いたします。

山形県白鷹町にて人口減少対策として、子育て支援について説明を受け質疑応答。まず、子育て支援係が設置されている所が良い。ソフト面では我が町も同等か、それ以上の施策を行っていると感じたが、母子手帳交付の際に3万円、出生祝金5万円、新入学時にランドセル贈呈、更に子育て支援住宅として安価な家賃で賃貸する等インパクトのある施策を展開している。財政面で国からの交付税措置が我が町の2倍以上ある現実が何ともし難いが、研修した事を参考に町に取り入れたい。

山崎 ひろみ

白鷹町にて、「子育て・教育への取り組みについて」研修をさせて頂きました。町の総合計画の理念として《共創のまちづくり》から四つの基本目標をたて、その一つで、定住者の増加を図る一方で、四季それぞれの名勝をPRし、年間を通しての誘客にも力を入れていました。

地域の特色を十分に分析し、その魅力を内外に発信し、更に住みよい街づくりの大切さを実感しました。

宮澤 健

町福祉課の内部に子育て支援係が置かれていて驚きました。普通、子育ては、ゆりかごから墓場までと思いますが、白鷹町は婚活から墓場と次世代まで、行政や議会、また町民と町ぐるみで取り組んで結果を出していることが、大変すばらしい町でした。

今後、我が町も人口が急激に減少します。

行政・議会・町民が一体となり、町の活性化を考えて行かなければならないと思います。

土屋 光正





早くから過疎指定され、過疎債を活用し、子ども・子育て支援施策や全世帯加入のNPO法人による住民主体の地域づくり。
住民と共有し、多種・多様な団体等との協働を推進したまちづくり。
また、閉校となった中学校を高齢者福祉の拠点とした町など、学ぶべき点が多く、大変勉強になりました。
我が町も地域間連携や多様な主体の参画による協働などにより、創意工夫を凝らす必要があると強く感じました。

城之内 一男

介護施設「そのつ森」主旨に深く共感しました。今まで中学校として学生が集い、震災では避難所として活用した校舎を「もったいない」と感じ、未来のために介護施設の設立に思案・努力された経緯に頭が下がります。

私は、町の執行は、中・長期的な計画のもと、最小公倍数で最大公約数の効果を考えなければならぬと思います。

そして、町民のために効率よく、無駄を作らないことだと「そのつ森」を訪問して感じました。

大綱 正敏

丸森町そのつ森、豊かな自然に恵まれた山里。福島原発事故後、過疎少子高齢化に拍車がかかる。

地区存続の危機感の中、情熱をもったリーダーがNPO法人を立ち上げ、廃校になった中学校を借り受けて福祉と交流の場として宿泊施設として運営。子どもからお年寄りまで皆が支えあって暮らしていくための拠点づくりと地区の復興を目指している。

軽い言葉や損得だけでは人は動かない。自分の信念を貫き行動することが大事だと改めて学んだ。

板寺 正範



川西町では、先進的なNPO法人「きらりよしじまネットワーク」全世帯加入による住民主体の地域づくりについて、丸森町では、中学校の跡地を利用したNPO法人「そのつ森」小規模デイサービス・宿泊研修について、現地視察を致しました。

どちらのNPO法人も地域住民に必要な小さな役割的な存在であり、そこに住む人々の要望に応え、献身的な活動がとて参考となりました。

これからの協働的な事業や活動に役立てて参ります。

花香 孝彦

いずれの視察先も少子高齢化による人口減少、担い手不足、財政難、限界集落への危機感に住民が気付き官民一体となり、協働している姿でした。

行政主体の白鷹町・県外からの移住者がリーダーとなって住民主体のNPOを立ち上げた川西町のきらりよしじま、丸森町のそのつ森、共にあるべき姿を目標に、現状に気付き、課題解決に向け邁進しているところに感動を受けました。我が町にもこのようなバイタリティ溢れる団体が誕生するよう啓蒙普及に努力しなければと感じた有意義な研修でした。

鈴木 正昭
(参加人員 13名)





ヘルプカード

援助を必要としている障害のある方などが携帯し、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくする「ヘルプカード」の運用について我が町の推進状況を伺う。

問 各地で大規模な自然災害が相次いでいるが、避難所運営マニュアル等は誰でもわかりやすい手引きが必要と考えるが、整備の状況を伺う。

災害時の町民を守る 取り組みについて



山崎 ひろみ 議員

健康福祉課長 町では本年度、子育て支援事業の一環として、東庄町ファミリーサポートセンター事業を立ち上げ、事業の実施については、東庄町社会福祉協議会へ委託しました。また、事業内容の周知を図るため、本年7月1日発行の社会福祉協議会

問 ファミリーサポートセンター事業の進捗状況及び課題等について伺う。
昨今、各地で実施されている「子ども食堂」また、経済的理由等で塾へ通えない子どもにも学習支援を行ったりする取り組みが進んでいるが、我が町の子ども達をサポートする体制の現状とこれからの取り組みについて伺う。

子育て支援について

健康福祉課長 町は、障害者手帳の交付時や、母子手帳交付時にカードの配布を予定しております。また、普及・啓発用チラシについては、保健福祉総合センターや役場等公共施設に備え、併せて、広報紙と町のホームページに掲載し、周知を図ってまいります。

総務課長 現時点では、「避難所運営マニュアル」は未整備です。今後、内閣府から示されたガイドラインを基に、地域住民と行政が一体となったマニュアルの整備に向け、検討してまいります。



意見 小学校統合後の空いた学校を、子育て中の親子が集まれる場所、更には世代間交流できる場所として整備できればと考える。

広報紙と同ホームページに掲載、併せてチラシを作成し、全戸配布をいたしました。
また、援助を提供する会員の募集ですが、各種協議会等で説明し、8月30日現在28名の登録をいただきました。
援助を受けたい会員については、保育所入所説明会時や、幼・小学校へチラシの配布・説明を予定しております、さらに広報紙10月号にも掲載する予定です。なお、活動開始は、来年1月を考えております。
次に子ども達をサポートする体制ですが、現在は、放課後児童クラブ及び子育て支援センターの設置、ファミリーサポートセンター事業の実施等です。今後は、社会福祉協議会と連携してファミリーサポートセンターの開設と会員登録者数の拡大、子育てボランティア数の拡大、放課後児童クラブの整備を行ってまいります。

新米がとれたよー！
橘小児童による稲刈り体験。
(議会だより6月号表紙で田植えを掲載)

**議会の傍聴に
お出かけください**

12月定例会は、12月12日(火)から開会予定です。
<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>



高木 武男 議員

地籍調査について

問 進捗状況と今後の見通しについて。

まちづくり課長 平成28年度末で、地籍調査事業の進捗率は95%です。今年度、桁沼耕地の一部1.48平方キロメートルをもって現地調査は終了いたします。



調査区域

問 筆界未定地の筆数と今後の対応について。

まちづくり課長 平成28年度末、町が把握している筆界未定地は119箇所、800筆です。町としては、国からの通達により再調査はできませんが、個人からの相談の対応として、資料の提供等の協力や、道路整備の際等に筆界未定地の解消に努めてまいります。

問 所有者不明の土地の筆数と今後の対応について。

まちづくり課長 所有者不明の土地数は、把握しておりませんが、不明の土地については近隣の土地所有者や千葉地方財務局、県関係機関から意見を聴取し、法務局と協議の上、適切な処理を行っております。

今後、登記記録、住民票の写し、戸籍謄本等を参照し、近隣住民に情報聴取等を行い、所有者の所在確認に努めてまいります。



現地調査の様子

香取郡市町議会議員研修大会

8月25日、神崎町ふれあいプラザを会場に、香取郡市町議会議員研修大会が、1市3町の議員をはじめ来賓多数を迎え、開催されました。

日本経済新聞社 法人ソリューション本部企画委員の山口正人氏による「経済記事の読み方」と題した講演が行われました。



郡議員研修大会

議会全員協議会を開催

議会では、10月30日、東庄病院長も出席し、「東庄病院医学生奨学金等貸付制度の創設について」と「東庄町総合教育会議について」を協議事項に、全員協議会を開催しました。



全員協議会の様子

この一般質問は、9月定例会の内容を要約したものです。
全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。



城之内 一男 議員

今後の行財政運営における課題について

問 過疎地域指定市町村という現実について行政の認識と、過疎地域自立促進計画策定及び起債について基本的方針を伺う。

総務課長 過疎地域市町村に該当したことにマイナスイメージを持たれる方もいるかと思われませんが、国から財政面での特別支援を受けることにより、今まで以上に住民のためのまちづくりが実施できるものと考えております。また、過疎地域自立促進計画については、県と協議を行い、第6次東庄町総合計画に沿ったものを策定しております。

次に、過疎対策事業債は、交付税措置が70%となる有利な起債のため、積極的に活用していきたいと考えます。本年度のハード分では、小中学校校舎及び給食センター整備について、発行を予定しています。翌年度以降は、教育施設整備・スクールバス購入と道路整備を中心に発行する

考えております。また、ソフト分については、子ども医療費の助成・外出支援バスの運行・健康診断や予防接種等、町が力を入れている福祉分野に充てていきたいと考えます。なお、現段階では、過疎債を利用した基金の積み立ては考えておりません。

問 統合計画・施設計画の変更中、教室の配置等改めて計画を示すべきと思うが、町の見解と併せて、30・31年度の北・南校舎改修工事について、伺う。

また、幼稚園についても統合と理解するが、施設の改修等具体的な考えは如何に。

教育課長 笹川小西側の現体育倉庫と道具倉庫を取壊し、そこに増築校舎を建設する方向で、現在設計を行っています。併せて、南西側の線路沿いに、新しく体育倉庫を早急に建設する予定です。また、平成30年度に、北校舎トイレ改修6ヶ所・校内LAN・24教室の空調設備を、31年度に南校舎トイレ改修4ヶ所・校内LAN・14教室の空調設備等の整備を計画しているところです。

次に、幼稚園についても平成32年度の小学校統合と合わせ、1園に統合したいと考えております。幼稚園は、就学前教育という観点から非常に重要なものであるため、今後設置要件等、十分精査の上、町内3園の

各保育園とも慎重に協議を重ねながら、幼稚園型認定子ども園の整備に向け、取り組んでいきたいと考えております。

教育長 教室の配置等、より良い形で子どもたちが使えるよう計画いたします。その他改修箇所については、設計の折に詳細を示していきたいと考えます。

次に、幼稚園ですが県との協議を行った後にお示ししたいと思っております。また、幼稚園・保育園の関係については、現在1年間の幼稚園型の子ども園ということを示しておるところです。

問 放課後児童クラブについて、子ども・子育て会議の提言では、小学校統合に伴い施設を整備し、1ヶ所で運営することが望ましいとしているが、現在の運営状況と、施設整備・放課後子ども教室との連携について伺う。

健康福祉課長 放課後児童クラブについては、現在2ヶ所で運営されており、登録者数は200名を超えております。

町としましても、小学校統合後は統合後の小学校敷地内に、放課後児童クラブを整備し、1ヶ所で運営する方向で検討し、財源については、子ども・子育て支援整備交付金を活用したいと考えます。

また、放課後子ども教室との連携

については、放課後児童クラブが厚生労働省、放課後子ども教室が文部科学省の所管であることや、地域の協力者等が必要となることから、今後は町と教育委員会が協力し、検討してまいります。

問 現在は、健全な財政運営が行われているが、臨財債は着実に増加している。これからの中・長期的な財政見通しの見解を伺う。

また、地方公会計制度について、統一的な基準による財務書類等の作成状況を伺う。

総務課長 過疎対策事業債を発行しても、地方債残高が極端に高くなるような、できる限り臨時財政対策債の発行を抑制していくべきと考えます。また、この先、町の公共施設の更新費が多額となることを踏まえ、公共施設整備基金等への積み立ても行いながら、更新時期の到来時には基金を取り崩し、対応してまいりたいと思っております。

次に地方公会計制度ですが、今年度中に統一基準の財務書類を作成できるよう準備を行っているところであります。今後は、財務書類も活用しながら効率のよい財政運営を行って参りたいと考えます。



林 俊之議員 逝去



現議員の林 俊之氏が去る10月20日逝去されました。

林氏は、平成23年12月に当選されて以来、二期六年にわたり、今まで在職され、文教福祉常任委員長始め、香取市東庄町病院組合議会議長や東庄町商工会会長の重責を担われ、地域社会の発展に多大なるご尽力をいただきました。温厚な中にも熱い情熱を秘め、町政発展のためにご活躍をされた姿は、皆様方の胸に、深く刻まれることと存じます。

ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

8月

- 2日 千葉県町村議会議員研修会
- 3日 第68回利根川治水同盟治水大会
- 5日 東庄音頭盆踊り会
- 10日 議会全員協議会
- 〃 介護保険運営協議会
- 11日~13日 東庄パーク&ピア夏祭り
- 15日 東庄町戦没者慰霊祭
- 21日 東庄町俳友会夏季俳句大会
- 24日 東庄町地域活性化事業審査会
- 25日 香取郡市町議会議員研修大会
- 28日 香取広域市町村圏事務組合議会決算審査
- 29日 議会運営委員会
- 31日 東総広域水道企業団議会定例会

9月

- 4日 議会9月定例会本会議
- 5日 議会9月定例会本会議
- 7日 予算決算常任委員会
- 8日 予算決算常任委員会
- 9日 東庄中学校運動会
- 10日 自衛隊協力会視察研修
- 11日 予算決算常任委員会
- 15日 議会9月定例会本会議・全員協議会
- 16日 神代・笹川・橘・石出・東城小学校運動会
- 19日~21日 議員・委員会合同行政視察研修(山形・宮城方面)

- 25日 金婚・米寿をお祝いする会
- 26日 香取市東庄町病院組合議会定例会・全員協議会
- 29日 議会広報編集委員会

10月

- 1日 東庄町歌謡愛好会発表会
- 3日 利根川下流域市町議会議長会
- 6日 東庄町小中学校音楽会
- 8日 町民運動会
- 11日 東庄町高齢者いきいきレクリエーション
- 13日 学校参観・笹川小ミニ集会
- 18日 香取広域市町村圏事務組合議会定例会
- 20日 東庄町小学校ミニバスケットボール大会
- 23日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 〃 香取市東庄町病院組合議会定例会・全員協議会
- 24日~26日 「東庄町民号」町民集いと憩いの旅(山形・新潟方面)
- 30日 議会全員協議会
- 31日 大阪府南河内郡千早赤阪村議会視察来町



◆編集後記◆

歳の暮れも押し迫ってまいり、寒い日が続きます。町民の皆様、風邪などに十分注意して新年を健やかに迎えてください。

新年度は、委員一人ひとりが町民の皆様のご意見、ご要望を取り入れ町民が読みやすくなるように、いろいろと研修を重ねて、誰でもわかる広報紙に委員一丸となり、編集に取り組んでまいります。

(委員 土屋 光正)



議会広報編集委員

委員長 花 孝
副委員長 宮 彦
委員 山 崎 香
鈴 木 正 昭
大 網 正 敏
土 屋 光 正